

平成30年度活動報告

厚別区防犯ネットワークでは、平成30年度に2回の会議を開催するとともに、主催事業として防犯教室を実施いたしました。

第14回厚別区防犯ネットワーク会議(平成30年7月12日)

子どもに関する事件等発生時の連絡体制について、様々な意見や報告がありました。

- 事件発生の日は見守り体制が手厚くなるが、事件解決後は手薄になった。毎日手厚い体制であれば安全だと思う。
- 特に大事なのが地域の方と子どもたちが顔見知りになること。普段見守りで立っただけで、地域の方に守られている意識が子どもたちの中に生まれる。
- 見守る場合、不審者と思われるため、防犯担当者のチョッキを着るとか、スクールガードのチョッキを着ないと、声かけは難しい。



第15回厚別区防犯ネットワーク会議(平成31年1月29日)

下校時(放課後)児童の見守り体制について、様々な意見や報告がありました。

- 登校時は時間が決まっているので見守りしやすいが、下校時は時間が非常に長い。その間ずっと見守るとなると大変な負担なので、特定の時間帯を決めて重点的に見守ることができればよい。
- 町内会としては、学校から「この時間帯に見守りをお願いします」と要請されると動きやすく、声掛けもしやすい。
- 子ども110番の家のステッカーは、地区で集中して貼っているところは犯罪や不審者情報が少ないので、効果はあるのかと思う。



※下記のとおり、厚別区ホームページにて配布資料・会議録を掲載しております。
ホーム > 手続き・暮らしの情報 > 防犯・防災・消防 > 安全・安心なまち あつべつ > 防犯に関すること > 厚別区防犯ネットワーク > 過去の防犯ネットワーク会議

<http://www.city.sapporo.jp/atsubetsu/bosai/kaigiroku.html>

■厚別区防犯教室（平成30年6月27日）

昨年度に引き続き、うさぎママのパトロール教室の武田信彦（たけだ・のぶひこ）氏を講師に迎え、もみじの丘小学校の児童を対象に防犯教室を実施しました。

参加した児童は、クイズと実演をとおして自分を守る「予防力」「対処力」「断る力」それぞれの安全力を確認し、体操や【体験型のゲーム】をとおして、まわりへ意識をむけるコツ、安全を保つことが出来る他人との距離感などを実際に練習しました。

また、地域で見守りをしている方々にも多数見学していただき、児童から日頃の感謝を伝えられました。

次年度も複数の小学校を対象に同様の防犯教室を開催する予定です。



周りをよく見てよく聞くことを「だるまさんが転んだ」で実演！



不審者からの誘惑に「できません！」と叫ぶ練習！



大声で「助けてー」と叫ぶ練習！



地域で見守りをしている人に感謝を伝えます！

今後の予定（平成31年度）

31年（2019年）7月 防犯教室、第16回防犯ネットワーク会議

32年（2020年）2月 第17回防犯ネットワーク会議



31-2-530
さっぽろ市
02-Q01-19-649

（厚別区防犯ネットワークとは）

防犯関係団体、地域住民及び行政など関係機関との連携と協働により安全で安心なまちづくりを進めることを目的として、あつべつ区民協議会内に設置された組織です。

構成団体 各地区まちづくり会議、厚別区民生委員児童委員協議会、厚別区青少年育成委員会連絡協議会、厚別区保護司会、小学校長会厚別支部、厚別区中学校長会、厚別区PTA連合会、公益社団法人札幌市子ども会育成連合会厚別区支部、厚別警察署、北海道コカ・コーラボトリング(株)、厚別警察署少年補導員連絡協議会、札幌市厚別東児童会館、厚別区役所

地域の安全は地域の手で！